

とよひら・りんく News Letter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局

看取り介護の体制確立を目指し

終末期カリキュラム研修スタート！



2012年7月23日（月）18:30～20:00

西岡福住地区センターにて、札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会「とよひら・りんく」、2012年度の第1回終末期カリキュラム研修会を開催しました。

地域の医師、訪問看護師、介護支援専門員、福祉施設の管理者、看護職、介護職等、52名の出席がありました。本研修会は、地域内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、グループホーム等の福祉施設での看取り介護の実践を支援するカリキュラム研修会です。2012年度合計4回の実施を予定しております。

終末期カリキュラム研修会の予定

- | | | |
|---------|-----------------------|---------------------------|
| 第1回【終了】 | 7月23日（月） | 本研修会の目的とスケジュールの説明、グループワーク |
| 第2回 | 9月24日（月） 18:30～20:00 | 外部講師による看取り介護についての研修会 |
| 第3回 | 12月17日（月） 18:30～20:00 | 症例報告、症例検討会 |
| 第4回 | 1月28日（月） 18:30～20:00 | カリキュラムのまとめ、今後の課題について |

グループワーク

2つのカテゴリーに分けて、グループワークを行いました。

施設管理者のグループ

看取り指針についての議論を行いました。

ご利用者の緊急時の対応や施設内での医療処置等について明文化し、ご利用者、ご家族に説明し、同意を得ることは重要です。今後、地域内の各施設での指針の内容を共有することは、医療側との円滑な連携には欠かせないことです。今回出席して頂いた7施設（内訳：特別養護老人ホーム1、介護老人保健施設1、グループホーム2、ケアハウス1、有料老人ホーム2）と在宅事業者の間でグループワークを行うと、看取りを実施されている施設（または指針はあるが実施していない施設）、指針のある施設（または作成中の施設）等、状況が異なることが分かりました。

【グループワークでのご意見】（一部）

○現在のマンパワーやハード面を考慮すると、看取り対応は困難であるが、今後希望される方のために、本研修会を通して学んでいきたい。（グループホーム管理者）

○先日、初めて看取り介護を実践した。施設の体制上、最期を迎える時間帯により、他のご利用者への配慮も必要だと感じた。また葬儀屋さん等との事前の打ち合わせも必要だと感じた。（グループホーム管理者）

○看取りの際、スタッフルームの隣の静養室で対応している（ご家族の宿泊も可能）。ご本人の写真や馴染みのものを持ち込んで頂き、最期を一緒に迎えられるよう支援している。（特別養護老人ホーム施設長）

○ご利用者の病状や認知症の進行に伴い、ご家族の意思決定が変化していくことがある。その対応につき、苦慮することがあり、他施設の取り組み等を参考にしたい。（ケアハウス施設長）

【アンケートからのご意見】（一部）

○他の施設の指針等、もう少し参考にして、理解を深めていきたいと思った。

○看取り介護に向けて、何からどのように取り組むのか、大まかなイメージが出来た。

【グループワークでのご意見】（一部）

※現在の課題について

- 看取り対応を今後実施していく上で、看取り対応時に何が起こるか、どう対処したら良いか・経過が分からない。(有料老人ホーム介護職)
- 現場で看取り経験がない職員が大半で、イメージもつかず、どうしようという状態。(有料老人ホーム介護職)
- ご利用者のご家族に今年、看取りを希望についてのアンケートを行うと、約半数が看取りを希望されていたという結果になったため、施設としても対応を検討していく必要を感じている。(有料老人ホーム看護職)
- 看取り介護を実施したことがないが、実施することを考えると、全室個室であり、見守り等に不安がある。特に夜間帯の対応が不安である。(ケアハウス介護職)
- ご利用者に、入居時に確認に看取りについての意向確認を行っておらず、ご利用者に現段階で「もしも・・・」と仮定しても、看取りのことも含め、最期のことを聞きにくい状況もある。(ケアハウス生活相談員)



※今後の解決策について

- 終末期の経過や急変時の対応等、具体的な研修会が必要ではないか。(グループホーム看護師)
- 看護職の介護職へのバックアップ体制について、看取り介護をされている施設の現状をお聞きしたい。(有料老人ホーム介護職)
- 訪問診療の患者様には、訪問診療開始時に全て終末期の意向確認を行っている。(クリニック看護師)
- 施設により方針や職員体制も異なるので、対応が可能なこと、不可能なことを伝えて頂ければ、連携がスムーズに行える。(医療機関看護師)
- ご利用者のご家族の意向も異なることもあり、看取り対応の時は先の見通しや緊急時の対応を丁寧に説明するようにしている。(訪問看護師)

【アンケート】（一部）

- 他施設の状況が分かり、今後の業務の参考になった。(特別養護老人ホーム看護師)
- 施設の体系は違えど、現在の問題や取り組む課題は共通な部分が多いことが分かった。(介護老人保健施設介護職)
- 現場の介護職員の看取り対応に対する不安が理解できた。(有料老人ホーム看護師)
- 医療機関との連携につき、意見を聞けたことは良かった。(有料老人ホーム生活相談員)
- 施設や医療機関側からの意見が聞けて、今後の連携の参考になった。(訪問看護師)

第2回終末期カリキュラム研修会のご案内 外部講師による研修会を行います。

9月24日（月）18:30～20:00 西岡福住地区センター

【外部講師のご紹介】 ・板垣園子氏（チームもりおか 所長）<http://www.mhcclinic.jp/TM/index.html>

岩手県盛岡市で在宅医療の体制構築で中心的に尽力されている方です。

・菊池要子氏（有限会社ぬぐまる 取締役）<http://www.k2.dion.ne.jp/~nugumaru/>

岩手県盛岡市の有料老人ホームで看取り介護を実践されている方です。

8月中に案内文書をご関係機関にお送り致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

今後の主な予定

8月27日（月）第2回合同会議

9月24日（月）第2回終末期カリキュラム研修会

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・川村

電話 011-853-8322(平日9-17時)

メールアドレス: okamura@keiwakai.jp

とよひら・りんく ホームページ <http://www.toyohiralink.jp/>